



骨密度検査



【検査について】

足のかかとの骨に超音波を当てて、その通過する様子から骨の強さを調べます。

DXA 法とは違い X 線を使用せず、超音波の伝搬速度を用いて骨を評価する方法のため、被爆の心配がなく妊娠中の方でも測定可能です。

骨の中にあるカルシウム・マグネシウムなどのミネラル成分が、どのくらいの量あるのかを計測するものです。このミネラル成分が不足してくると、骨がもろくなり、骨折しやすくなります。もし、より正確な測定が必要な場合は DXA 法（2 種類のエックス線を用いて骨量を測定する方法で、現在最も正確に骨量を測定することが出来ます。）ができる北原ライフサポートクリニックに紹介をいたします。

【骨粗鬆症について】

骨粗鬆症は、骨が弱くなり、骨折しやすくなる病気です。

自覚症状が乏しく、「背中が丸くなる」「身長が縮む」といった症状が徐々に起こるため、「病気」と気付かないことが多いのも特徴です。気付いた時には病状がかなり進行していたということも少なくありません。

骨粗鬆症により、高齢者が股の付け根を骨折すると治療に時間がかかり、その間に全身の機能が低下し、寝たきりになる恐れもあります。

